

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	58	健康行動実践モデル実証事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア		
担当部課名	保健医療部 健康長寿課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進 Ⅲ-4		
事業内容	<p>早世予防と平均寿命(健康寿命)の延伸を図ることを目的として、生活習慣病のリスクの高い青壮年期の健康意識の向上、行動変容(食事、運動、消費)に誘導する新たな方法の開発・実証等を行う。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	-	71,000	-	71,000
		(b) 予算現額	22,324	-	71,000	-	71,000
		(c) 増減額 (b-a)	22,324	-	0	-	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		22,324	-	71,000	-	71,000
	B. 執行済額		22,324	-	71,000	-	71,000
	うち交付金充当額		17,859	-	56,800	-	56,800
	C. 次年度繰越額		0	-	0	-	0
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	-	100.0%	-	100.0%
予算の状況の説明		予算現額について予定通り執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	対象者の選定・ベースライン調査、追跡調査によるデータの蓄積 10,000人	目標	-	10,000	10,000		
		実績	-	5,592	15,440		
		目標					
	実績		..				
達成状況説明	当初目標とした人数を達成しており(H25~H26年度総数 15,440名)、調査対象群を一定程度確保した。						
成果目標(指標)及び進捗状況		基準値	24年度	25年度	26年度	目標値	
	実証事業の体制確立	目標	-	-	-	体制確立	-
		実績	-	-	-	体制確立	-
		目標					
		実績					
進捗状況説明	成果目標である実証事業の体制確立については、モデル地区から対象者の選定・ベースライン調査を延べ15,440名(H25~H26年度総数)に対して実施し、食育等の介入も行っている。また、ベースラインの1年後調査に関しても段階的に実施し、最終的な評価に向けたデータ蓄積が進んでいることから、目標を達成している。 ※事業の進捗状況等については、琉球大学ホームページにおいて公表 http://www.yuima-ru.med.u-ryukyu.ac.jp/						

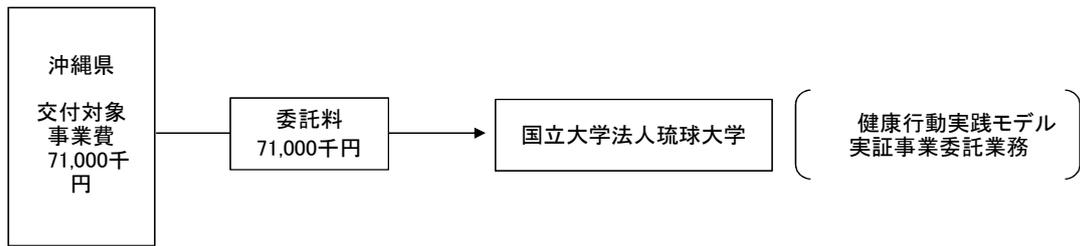
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>長期間にわたる調査に継続的に協力してもらうため、事業目的等の理解を深めるセミナーを、H25年度に引き続きモデル市町村の関係者に実施した。</p> <p>ニュースレターやレシポ本等による情報提供の効果もあり、ベースライン調査の実績値が目標の10,000人を上回った。</p>	<p>引き続き、複数年度にわたる事業への理解を深め、事業の適切な実施を確保するため、モデル市町村の関係者に対する普及啓発等の取組が必要である。また、事業に参加することで得られる健康づくり情報などのメリットについても宣伝して行く必要がある。</p>

今後の取り組み方針

- ・引き続き、複数年度にわたる事業への理解を深め、事業の適切な実施を確保するため、モデル市町村の関係者によるセミナーを開催する。また、事業に参加することで得られる健康づくり情報などのメリットについても宣伝し、継続的な協力を得る。
- ・事業の最終的な分析評価(科学的根拠に基づく知見の収集、行動変容に誘導する新たな手法確立)に向けたデータ蓄積及び分析評価を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
71,000	71,000	56,800	14,200	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○本事業は、生体試料の追跡を目的としたコホート研究であるため、県内で唯一医学部を有し、研究ノウハウを有する琉球大学を委託先として選定しており、妥当と考える。</p> <p>○予算規模は本研究の事業量に見合った人件費、事務費であり、妥当と考える。</p> <p>○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について検査し、適正な執行と認められた。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

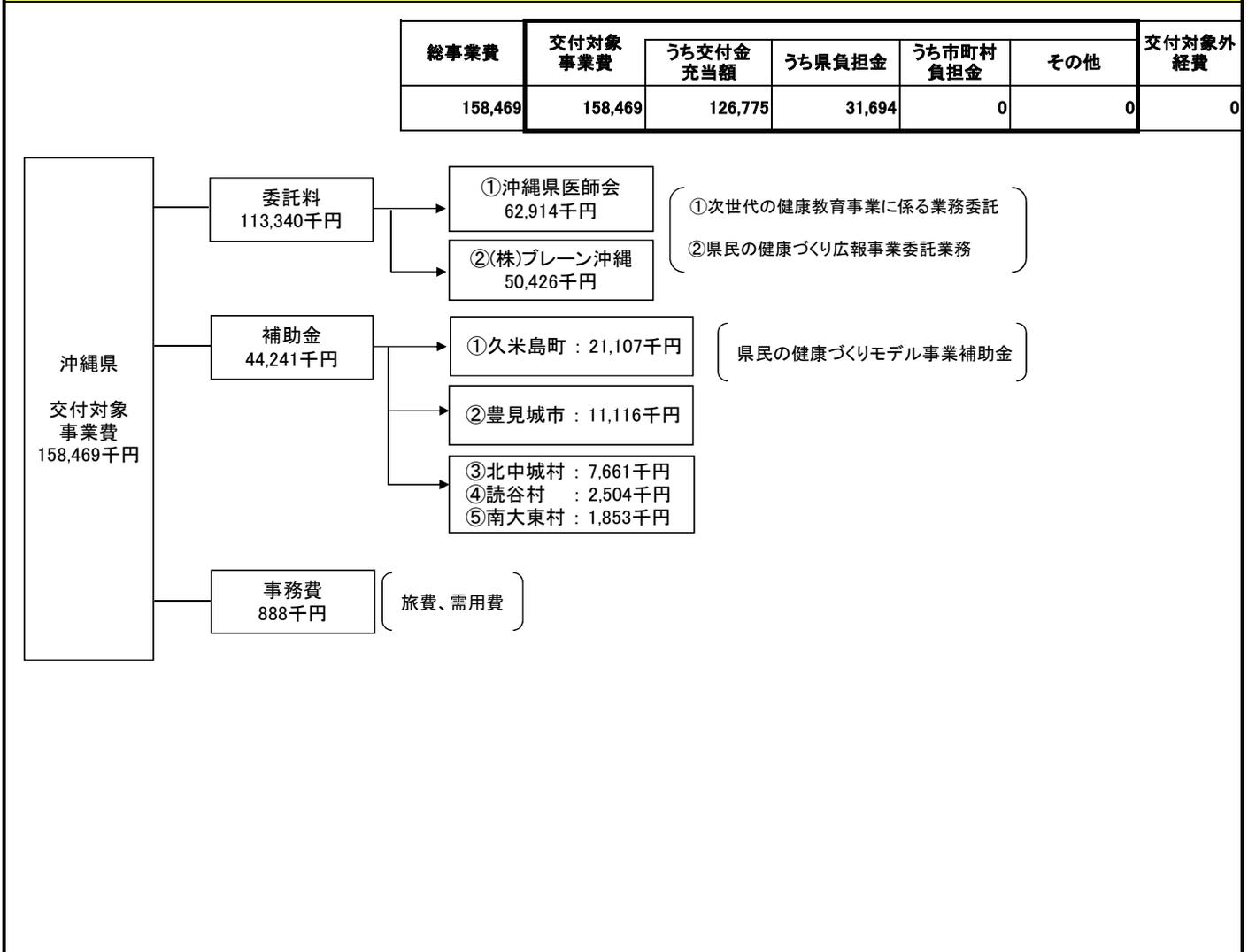
事業番号・事業名	59	長寿復活健康づくり事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア			
担当部課名	保健医療部	健康長寿課	事業実施(予定)年度	平成 26 ~ 27 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進 Ⅲ-4	
事業内容	沖縄県の長寿復活に向けて、市町村や地域を巻き込んだ県民全体での健康づくりに取り組むため、普及啓発、次世代への健康教育、市町村の行う健康づくりモデル事業への助成など総合的な健康づくりを推進する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	—	—	0	—	166,994
		(b) 予算現額	—	—	79,231	—	166,994
		(c) 増減額 (b-a)	—	—	79,231	—	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計 (b+d)		—	—	79,231	—	166,994
	B. 執行済額		—	—	37,847	—	158,469
	うち交付金充当額		—	—	30,277	—	126,775
	C. 次年度繰越額		—	—	0	—	0
	執行率 (%) (B/A)		—	—	47.8%	—	94.9%
予算の状況の説明		・予算額は、委託料(県民の健康づくり広報事業委託業務、次世代の健康教育事業に係る業務委託)と補助金(市町村の行う健康づくりモデル事業への助成)を主な経費として計上しており、平成25年度と比べ予算現額が87,763千円増額となっているのは、長期間のTVCM広報に係る放送料や副読本の印刷製本費を計上したことによるものである。 ・執行率は94.9%であり、市町村の行う健康づくりモデル事業の助成を実施した5市町村の補助金が、交付決定額より実績額が下回ったこと等により、不用額(8,525千円)が発生したことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	テレビ・ラジオCMによる広報実施	目標	—	—	広報実施		
		実績	—	—	広報実施		
	副読本の印刷・配布(3分野)	目標	—	—	印刷・配布		
		実績	—	—	印刷・配布		
	健康づくりモデル事業の実施(5市町村)	目標	—	—	5市町村		
実績		—	—	5市町村			
達成状況説明	・県民の健康づくり広報事業については、テレビ、ラジオ、新聞等の各種メディアを活用し、県民を対象に広報を実施した。 ・次世代の健康教育事業については、食生活、生活習慣、こころの健康の3分野の副読本を印刷し、県内全小中学校に配布した。 ・市町村の行う健康づくりモデル事業については、沖縄県全市町村に募集を行い、応募のあった市町村の事業を選定し、目標としていた5市町村を採択、事業を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(26年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	健康おきなわ21の認知度 目標値 50%	目標	50%	—	—	50%	75%
		実績	—	—	—	73%	—
	小中学校での健康教育体制の充実	目標	健康教育体制の充実	—	—	教育体制の充実	—
		実績	—	—	—	教育体制の充実	—
	事業実施体制の確立	目標	事業実施体制の確立	—	—	事業実施体制の確立	モデル事業の普及
		実績	—	—	—	事業実施体制の確立	—
進捗状況説明	・成果目標である健康おきなわ21の認知度については、実績が73%(平成27年3月)となっており達成している。 ・成果目標である小中学校での健康教育体制の充実については、健康づくり副読本と併せて教員用のテキストを作成するとともに、教員向けの研修会を各地区で実施しており、児童生徒への教育体制の充実が図られており、目標を達成している。 ・成果目標である市町村の行う健康づくりモデル事業の事業実施体制の確立については、各地域の特性や課題を踏まえた事業が実施され、他地域へ普及可能なモデル事業となり得る事例ができており、目標を達成している。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度の事後評価を踏まえ、働き盛りの世代の参加が見込まれるイベント等と連携した広報を実施し、健康おきなわ21の認知度は高まっている。今後はどのように健康行動の実践に結びつけていくか、さらに広報内容の工夫が必要である。 H25年度の事後評価を踏まえ、副読本とあわせて教員用テキストの内容充実を図った。今後、学校現場での活用を促していく必要がある。 市町村の行う健康づくりモデル事業の活動実績及び成果実績については、目標としていた5市町村を採択し、各地域の特性や課題を踏まえた事業を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報については、働き盛りの世代の接触が高い媒体やイベント等を検討するとともに、健康行動の実践につなげるための広報内容を検討する。 副読本の活用を促進するため、学校現場にどのように働きかけていくか検討する必要がある。 市町村の行う健康づくりモデル事業については、実施市町村の独自性や自主性をいかしながら、他市町村へ普及可能なモデル事業となるよう、より効果的に推進する。

今後の取り組み方針

- ・広報については、働き盛りの世代の接触が高い媒体やイベント等において、健康行動の実践につなげるための広報を検討し、実施する。
- ・副読本の活用を促進するため、教育庁と連携し、教員向けの研修会の充実を図るとともに、活用状況を把握し、今後の活用促進の方策を検討する。
- ・市町村の行う健康づくりモデル事業については、他市町村へ普及可能なモデル事業の実施体制確立のため、実施市町村と意見調整を行いながら、効果の検証や普及の可能性について実証していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・広報事業の委託事業者はH25年度に公募型プロポーザル方式により選定した業者であり、H25年度に制作したテレビCM等を継続して活用し、統一性のある広報を実施するため同業者と契約した。 ・次世代の健康教育事業の委託事業者は、専門知識を有する沖縄県医師会を選定し、専門知識をいかした副読本を作成することができたため妥当と考えている。 ・市町村のモデル事業に対する補助金については、選定要領に基づく選定委員会により選定、採択したため妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	217 芝人養成事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-2-(1)-イ			
担当部課名	文化観光スポーツ部 スポーツ振興課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	スポーツキャンプ誘致における環境を整えるため、芝生管理の専門知識と技術を兼ね備えた人材を養成するとともにグラウンドのモデル管理などを行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（事務費）						
予算額・執行額 【単位：千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	29,793	—	70,000	—	40,994
		(b) 予算現額	29,793	—	70,000	—	40,994
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	—	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計 (b+d)		29,793	—	70,000	—	40,994
	B. 執行済額		29,792	—	70,000	—	40,755
	うち交付金充当額		23,833	—	56,000	—	32,604
	C. 次年度繰越額		0	—	0	—	0
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	—	100.0%	—	99.4%
予算の状況の説明		執行率は99.4%であり、ほぼ予定通り執行した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	専門的芝生管理技術を有する人材の育成	目標	—	—	研修生5名		
		実績	研修生 5名	研修生5名	研修生10名		
	グラウンド管理モデルの導入	目標	—	—	2箇所		
		実績	2箇所	2箇所	2箇所		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成研修:座学講習、実地研修(管理業務)、県外実地研修、芝管理技術者資格の取得等を実施し、10名の人材育成を行った。 ・グラウンド管理モデル事業:市町村管理のグラウンドを実地研修の場として提供してもらい、市町村と連携して、集中管理を行った。(2箇所) ・グラウンド巡回支援事業:県内グラウンドの巡回を通じて、芝生の状態や管理作業等の対応などについて情報交換を行う。 上記の活動を実施し、活動目標を達成できた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況			基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (26年度)
	専門的芝生管理技術を有する人材の確保	目標	—	5名	5名	5名	10名
		実績	0名	5名	5名	10名	10名
	グラウンド芝生環境の向上	目標	—	—	—	2箇所	6箇所
		実績	—	2箇所	2箇所	2箇所	6箇所
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅱ期生は2年目の研修でより専門的な芝生管理の知識と技術を習得し目標を達成している。 ・育成した人材については、習得技術を活かした職場へ就職した。 					

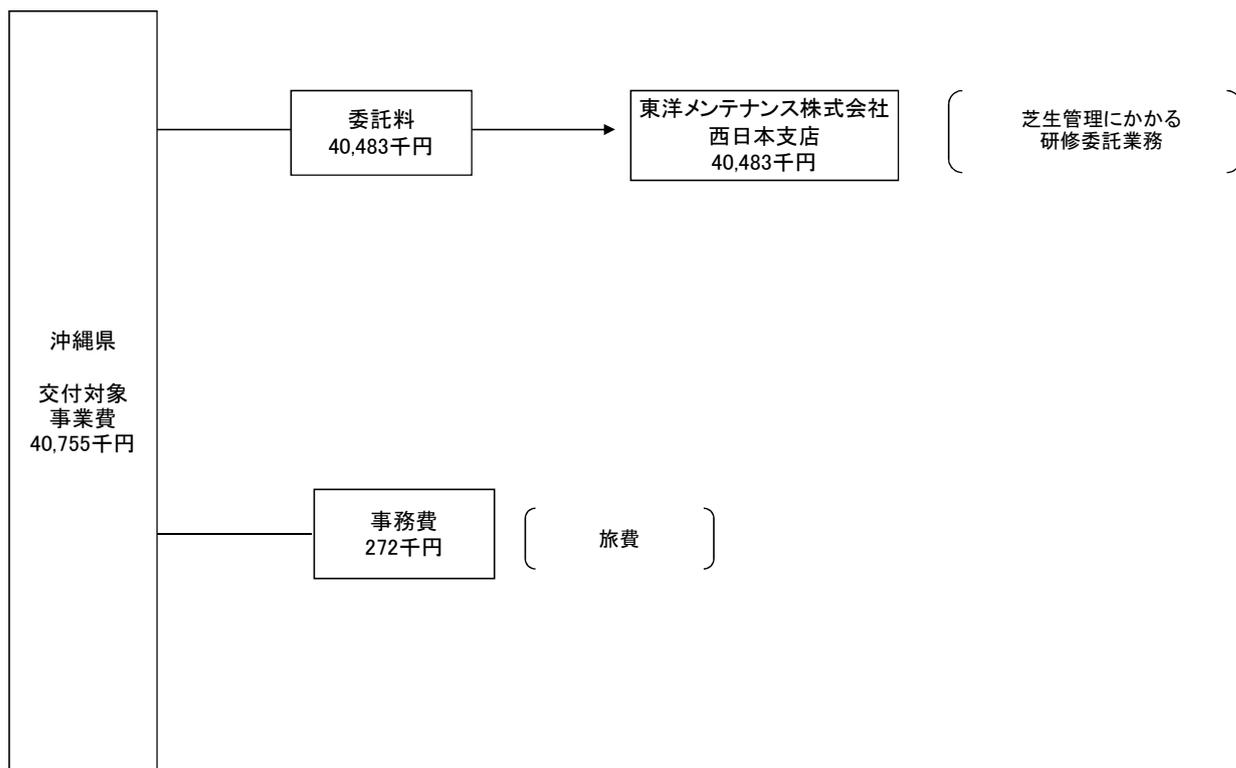
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・研修2年目となるⅡ期生の就職支援 ・サッカーキャンプ誘致事業と連携した取組 ・市町村施設管理者及び県内関連事業者等との情報交換 ・実地研修場所を提供する施設の芝生養成期間の利用制限 ・本事業終了後の芝生管理の維持・継続に向けた市町村予算の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブチーム等へ県内芝生環境の積極的なPR活動を行う。 ・サッカーキャンプによる地域活性化と経済波及効果に対する市町村や地域住民の理解度向上が必要である。

今後の取り組み方針

・平成26年度までの事業予定であったが、サッカーキャンプが好調ななか芝の専門的知識・技術を有する人材の育成が引き続き必要とされたため、平成27年度から平成28年度までの2年間でⅢ期生5名の人材を育成する。
 ・サッカーキャンプ誘致との連携を図り、Jリーグクラブ、なでしこリーグクラブ及び大学等へ県内芝生環境の向上を積極的にPRし、キャンプ誘致を推進する。
 ・キャンプ誘致事業者、サッカー関連団体、市町村との連絡会を定期的に開催し、サッカーキャンプによる地域活性化や経済波及効果に対する市町村や住民への理解を深める。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
40,755	40,755	32,604	8,151	0	0	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は平成24年度において企画提案方式により選定されており、翌年以降は複数年度をかけて人材育成を実施するため、継続性の観点から随意契約となっており、妥当であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	218	世界空手道連盟プレミアリーグ開催支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ			
担当部課名	文化観光スポーツ部	スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成 26 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツコンベンションの推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	空手を観光資源として活用することで、スポーツコンベンションのさらなる推進を図るとともに、今後の空手道振興に寄与するため、「世界空手道連盟プレミアリーグ」の沖縄開催を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	—	—	—	—	30,000
		(b) 予算現額	—	—	—	—	30,000
		(c) 増減額 (b-a)	—	—	—	—	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計 (b+d)		—	—	—	—	30,000
	B. 執行済額		—	—	—	—	30,000
	うち交付金充当額		—	—	—	—	24,000
	C. 次年度繰越額		—	—	—	—	0
	執行率 (%) (B/A)		—	—	—	—	100.0%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・予算額は大会開催に係る補助金を計上したところである。 ・執行率は100% 					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	空手の国際大会である世界空手道連盟プレミアリーグの開催に係る経費の補助	目標	—	—	開催経費の補助		
		実績	—	—	開催経費の補助		
		目標					
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年8月30日から31日の2日間にわたり大会が開催された。 ・大会へは、35カ国から286名(うち日本人選手57名)の参加があった。 ・観客動員数は、2日間で3,747人であった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(〇〇年度)
	世界空手道連盟プレミアリーグの開催大会参加者数	目標	—	—	—	1,200名	—
		実績	—	—	—	715名	—
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標である1,200名については、実績が715名で目標数を下回っており、未達成となっている。 ・達成できなかった主な理由は、同リーグのトルコ大会と日程が接近していたこと及び競技者の多くが欧州勢という特性から、移動等による時間的・体力的な負担の問題から参加者選手及び関係者数に影響が出たものと思われる。 					

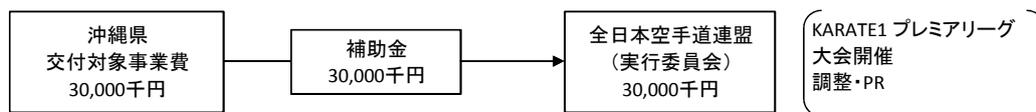
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・活動実績としては、大会の開催により、世界各国から多くの選手、役員及び関係者が訪れたことで、「空手発祥の地沖縄」を世界にアピールすることができたことから「達成」と評価する。また、県出身の選手が男子個人形及び団体形で優勝するとともに、女子個人組手において3位入賞を果たすなど、県民に夢や希望・感動を与えることができた。</p> <p>・成果実績は、目標の1,200名に対し715名と大きく下回った。その理由としては、同リーグのトルコ大会と日程が接近していたこと及び競技者の多くが欧州勢という特性から、移動等による時間的・体力的な負担の問題から参加者選手及び関係者数に影響が出たものと思われる。しかしながら、今回の大会では、これまで来沖することがあまりなかった国からの参加も多くあった。</p>	<p>・大会の認知度向上を図るため県内外への効果的な周知・宣伝が必要である。</p> <p>・大会の開催時期等を検討することにより、欧州勢を含む海外からの誘客が期待できることから、全日本空手道連盟等と調整を行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・当該大会は、世界空手連盟の行方中で、世界選手権に次ぐ、権威ある大会であるとともに、空手が東京オリンピックの正式種目に採用される可能性も高まっていることから、魅力ある大会とすることで、県内外での認知度向上を図り、スポンサー等協賛企業を募りやすい状況を作りあげ、運営基盤等を確立させる必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
30,000	30,000	24,000	6,000	0	0	0



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・当該大会は世界空手連盟が主催し、日本開催における主管は全日本空手道連盟が行うこととなっていることから、全日本空手道連盟への補助金支出となっている。</p> <p>・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。</p> <p>・受益者との負担関係は約1/2となっており妥当である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	219	地域健康力アップ推進事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-2-(1)-イ		
担当部課名	文化観光スポーツ部	スポーツ振興課	事業実施 (予定)年度	平成 26 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	生涯スポーツの推進 Ⅲ-4	
事業内容	県民の健康増進と体力の向上を図るために、総合型地域スポーツクラブを活用し、継続的な体力測定の実施とスポーツ指導、交流イベント等を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	—	—	24,160	—	25,538
		(b) 予算現額	—	—	24,160	—	25,538
		(c) 増減額 (b-a)	—	—	0	—	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計 (b+d)		—	—	24,160	—	25,538
	B. 執行済額		—	—	24,160	—	25,235
	うち交付金充当額		—	—	19,328	—	20,188
	C. 次年度繰越額		—	—	0	—	0
	執行率 (%) (B/A)		—	—	100.0%	—	98.8%
予算の状況の説明		執行率は98.8%であり、不用額(303千円)は事務費(報償費、旅費)の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	測定教室の実施	目標	—	—	21回		
		実績	—	—	21回		
	総合型クラブ交流会参加者数	目標	—	—	1000名		
		実績	—	—	1266名		
達成状況説明	平成26年度から開始した事業であるが、4つのクラブで開催されたクラブ交流会の参加人数は累計1266人で、指導者と参加者同士のコミュニケーション醸成に繋がった。測定教室は予定通り21回行い、225人の測定を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (28年度)
	総合型スポーツクラブにおける体力測定者数	目標	—	—	—	600名	1200名
		実績	—	—	—	225名	—
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	・体力測定者数は最終年度の平成28年度には1200人を目標としている。 ・体力測定者数は目標としていた600名を下回っており未達成となっている。その理由として、クラブ会員以外に対する周知が不十分であり、新規参加者が少なかったため。					

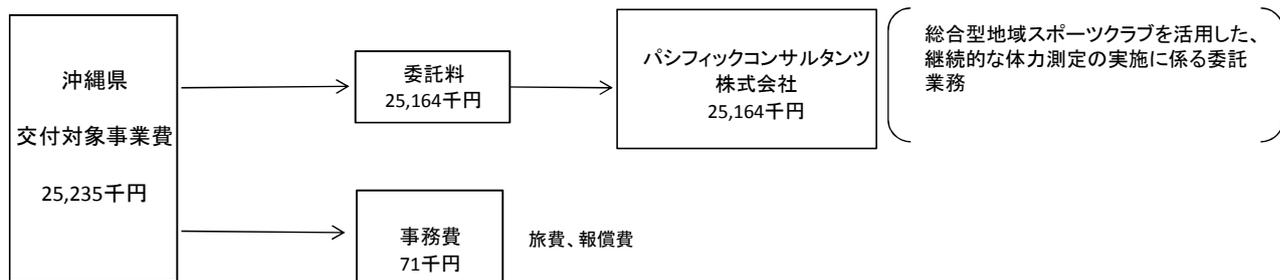
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 自治体や企業側の総合型地域スポーツクラブへの理解が進んでいない現状である。 運動教室では指導者が不足している。 交流イベントでは、日常的に運動をしている参加者が多く、新規参加者が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者の育成、スキルアップの仕組みづくりが必要である。 新聞、ポスター、SNS等様々な媒体を活用し、イベントの告知、総合型地域スポーツクラブの紹介を行い、新規参加者に呼びかけを行う必要がある。 日常的に運動をしていない参加者のために、体験教室を開催するなどして新規参加者への訴求力を高める必要がある。

今後の取り組み方針

平成27年度は総合型地域スポーツクラブと市町村等との連携を促進し、イベントや様々な広報活動などを通して、住民のスポーツへの参加意欲の向上を図るとともに、健康意識を高める機会を創出する。
 また、総合型スポーツクラブの認知度を高め、新規クラブの立ち上げや新規参加者の増加につなげる。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
25,235	25,235	20,188	5,047	0	0	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募を行い、選定委員会を開催し、実績、知識、企画提案内容等を勘案した上で決定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	225	がんじゅーどー事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部課名	土木建築部 道路管理課	事業実施(予定)年度	平成 26 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-11-(2)		
事業内容	ウォーキング等に利用しやすい道路空間を形成し、県民の健康づくりを推進するため、道路空間の調査及び計画の策定等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	-	-	-	-	38,000
		(b) 予算現額	-	-	-	-	18,700
		(c) 増減額 (b-a)	-	-	-	-	▲ 19,300
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		-	-	-	-	18,700
	B. 執行済額		-	-	-	-	18,549
	うち交付金充当額		-	-	-	-	14,839
	C. 次年度繰越額		-	-	-	-	0
	執行率 (%) (B/A)		-	-	-	-	99.2%
予算の状況の説明		・予算額は、現状の利用状況等調査、モデル5路線の選定および、実施計画策定費用を計上。 ・減額(19,300千円)は設計延長 3.0km/路線を見込んでいたが、モデル路線選定の結果、既存の都市公園等と併せた効率的な利活用等の検討により、設計延長が減となったことによる。 ・執行率は99.2%であり、不用額(151千円)は委託業務における入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・利用状況調査の結果をふまえてモデル5路線を選定し、実施計画を策定する。	目標	-	-	モデル5路線選定 実施計画策定		
		実績	-	-	モデル5路線選定 実施計画策定		
		目標					
		実績					
達成状況説明	・現状調査やアンケート調査等の結果を踏まえ、モデル5路線の選定及び、実施計画を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(26年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
	実施計画策定5路線	目標	-	-	-	モデル5路線選定 実施計画策定	現状値より増
		実績	-	-	-	モデル5路線選定 実施計画策定	-
	(参考) モデル5路線におけるジョギング・ウォーキング等利用者数(18時間調査合計値)	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	524人	-
	進捗状況説明	・計画通りモデル5路線の選定及び、実施計画を策定し目標を達成している。					

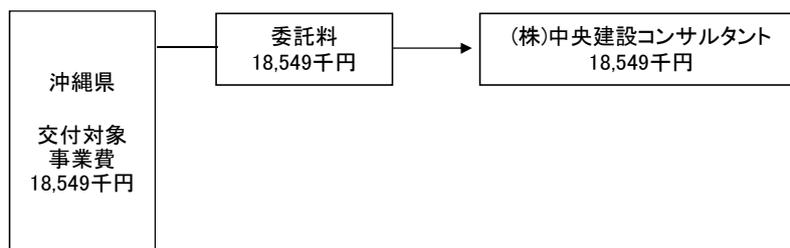
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<p>・平成28年度以降の課題として、追加の整備路線を選定・整備するにあたり、事業効果を高めるため、必要に応じて市町村道等と連携した整備が必要となる。</p>

今後の取り組み方針

・平成27年度は、計画に基づきモデル5路線の整備を行う。
 ・平成28年度からは整備と合わせて効果検証を実施し、検証結果を踏まえて追加整備路線を検討する。追加整備路線の選定にあたっては、市町村道等も含めたネットワークの構築を検討する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
18,549	18,549	14,839	3,710	0	0	0



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は指名競争入札により実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	